

銀メダルをオークションへ！五輪陸上選手の思いやりに感動

「この銀メダルはクローゼットの中でほこりをかぶるのではなく、人の命を救うことができる」

by KANA SANUKI 2021/08/18



東京オリンピックの陸上女子やり投げで、銀メダルを獲得したポーランド代表のマリア・アンドレイチェク選手（25歳）。そんな彼女が、8月11日（現地時間）に自身のFacebookで心臓病と闘っている男の子の手術費用として約18万ドル（約1,970万円）を集めることを目標に、自慢のメダルをオークションに出品することを発表。

Related Story



人生の励みに！東京五輪が生んだアスリートの珠玉の名言集

2018年に骨肉腫を患った経験を持つマリア選手は、手術を受けた後に世界の舞台に復帰。東京オリンピックでは、自身初となるメダルを獲得し話題を呼んだ。

今年5月の<ワールド・アスレックス>のインタビューでは、「（自分の病気が）それほど重いものではなく、すぐに回復できると思っていました」と語り、闘病生活を振り返り。

「健康であれば自分の力を発揮できるのですが…。私は今でも、トレーニングを重ねて上達していくという感覚が好きなんです。やり投げは私をより良い人間にしてくれ、喜びをもたらしてくれました」



Getty Images

そしてメダルを獲得した5日後、ネット上である男の子の両親が助けを求めているのを知ったマリア選手。生後8カ月の男の子は心臓病を患っており、アメリカに手術を受けに行く費用を必要としていたそう。そのため自身の銀メダルをオークションに出品し、彼を支援することを決意。

マリア選手のFacebookページには、男の子の手術費用に**150万ズウォティ（約4,200万円）**が必要で、彼の家族がオンラインで行った募金活動ですでに半分が集まっており、今回のメダルのオークションで残りの半分を集めるのが目標だと書かれている。



約5万ドル（約548万円）でスタートした銀メダルのオークションは、8月16日（現地時間）にポーランドの大手コンビニ会社「Zabka（ジャプカ）」が落札価格として12万5000ドル（約1,370万円）を寄付。

マリア選手は、感謝と喜びのメッセージを同社に送り、「できるだけ早く全額を受け取って、彼がアメリカへ飛ぶことができるようにオークションを終了することにしました」と報告した。

また今回メダルを落札した「ジャプカ」は、「私たちはオリンピックの美しく極めて高貴な活動に感動し、彼のための募金活動を支援することにしました」とTwitterでコメント。さらに、銀メダルはマリア選手の手元に残すとも発表している。



Zabka Polska
@ZabkaPolska



Byliśmy bardzo poruszeni niezwykle pięknym i szlachetnym gestem naszej Olimpijki, dlatego postanowiliśmy wesprzeć zbiórkę na rzecz Miłoszka. Zdecydowaliśmy, że 🏆 z Tokio zostanie u Pani Marii! Podziwiamy i cieszymy się, że mogliśmy dołożyć swoje ❤️! 🙌

Świetna wiadomość! Gwiazda polskiego sportu ogłasza zwycięzcę Srebrny medal olimpijski oszczepniczki Marii Andrejczyk znalazł nabywcę. Gwiazda sportu zaraz po wywalczeniu drugiego miejsca na ...
[sport.interia.pl](#)

午前3:08 · 2021年8月17日

 3,556  130  ツイートへのリンクをコピー

返信をツイート

今回メダルを競売にかけたことについてマリア選手は、『タイムズ・オブ・ロンドン』紙のインタビューで次のように語った。

「メダルの真の価値は、常に心の中にあります。メダルはただの物ですが、他の人にとって大きな価値を持つことができます。この銀メダルはクローゼットの中でほこりをかぶるのではなく、人の命を救うことができる——。だからこそ私は、病気の子どもたちを助けるためにこのメダルをオークションにかけることにしました」

オリンピックでは多くの人に感動を与えたマリア選手。メダル獲得後も、きっと彼女の気持ちはたくさんの人の心に響いたはず。

Related Stories



シモーネ選手、東京五輪での銅メダルは「前大会より嬉しい」



五輪への願掛け！アスリートがタトゥーに込めた「想い」 15



次のオリンピックはいつどこで？2022～2028年までの開催地をチェック

COSMOPOLITAN PR

「私らしくいられる」日常に寄り添う、Yue
(ユエ) の新しいランジェリー